

2016年 洞爺湖  
温泉開湯100年

# 洞爺湖町の魅力を知ろう！

洞爺湖町についてのアンケート調査結果

■問合せ 観光振興課 ☎75-4400

洞爺湖温泉観光協会は、洞爺湖町の地域ブランド力がどのくらいあるのかを調査するため、今年の1月無作為抽出により、町民と札幌市在住の洞爺湖町を知っている皆さんに「洞爺湖町についてのアンケート」を実施しました。その調査結果が出ましたので、その一部を紹介します。

## 調査方法

この調査は、同協会が洞爺湖町の魅力や良さを外に発信して来訪促進を図るうえで、町民が感じている洞爺湖町の魅力と札幌市民が感じている洞爺湖町の魅力の実態を把握し、今後の事業展開の参考にする狙いで行いました。回答を寄せた洞爺湖町民は、20代～60代の男女192人。今年の1月～2月初旬にかけて郵送で調査を行いました。一方、札幌市民については、洞爺湖町を知っている人を対象に20代～60代の男女311人が回答。調査方法は、インターネットを利用して、今年1月中旬に実施しました。

## 調査結果

地域ブランドは「歴史文化」や「食文化」など『6つの地域ブランド資産』と、地域が人にもたらす、温かみや触れあいなどの「関係絆」や、神秘的な気分や開放感などの「感覚価値」を含む『4つの地域ブランド価値』で測定されます。

洞爺湖町の地域ブランド調査結果で特筆すべきは、洞爺湖町民よりも、札幌市民の方が洞爺湖町へのブランド評価が高く、特に、人と人との交流といった「コミュニティ資産」や神秘的・開放感などの「感覚価値」などで高く評価をしています。洞爺湖町民が

当たり前前にも思っていることも、町外の人にとっては大きな魅力に映っています。また調査では洞爺湖町にある40の地域資産の認知についてと魅力的に思うかを聞きました。その結果、「洞爺湖」「昭和南山」「有珠山」「花火大会」「わかさいも」などは内外が認める洞爺湖町の魅力となっています。

一方、「とうや湖あか毛和牛」「白いおしるこ」などの食は、まだ認知は低いが魅力のある洞爺湖の資産として、今後のピーアールが期待されています。また「洞爺湖マラソン」「アニメフェスタ」などは内外のギャップ（魅力度の差）が大きくなっています。イベントの持つ魅力を、訪れている人達以外にもアピールしていくことが必要と考えられます。

「洞爺湖町と聞いてどのよいうなことを思い浮かべますか」という質問への自由回答では、「洞爺湖」「有珠山・昭和南山」「花火」「温泉」などの記載が多数みられて「洞爺湖町らしさ」を形成している重要なシンボルであることが確認できました。

また、「洞爺湖町にぜひ訪れたい」という洞爺湖町ファンの札幌市民の回答の傾向をみると、地域資産の回答の他に、「癒される」「情緒あふれる」「パワースポット」「エネルギー」など情緒的な言葉が出現していることがわかりました。洞爺湖町の地域